



おむつかぶれ



<原因>

おむつのなかの尿や便をそのままにしておくと、「おむつかぶれ」になります。

「おむつかぶれ」は、IV 型アレルギーの“接触皮膚炎”のひとつです。尿や便が皮膚に長い時間接触していると「おむつかぶれ」になってしまいます。



<予防>

清潔と乾燥, つまり「こまめにおむつを取り替える!」のが一番大切です。きれいに拭いて, いつも皮膚が乾いているようにしてあげましょう。紙おむつは吸水性に優れていますが, 尿や便がそのままでは「おむつかぶれ」になってしまいます。おしっこやうんちが出たら, すぐにおむつを替えてあげましょう。



<治療>

洗う: たっぷりのぬるま湯で, 石鹼やガーゼを使って洗うのが一番いいです。

拭く: 1 枚のウェットティッシュだけでは, いくらゴシゴシやってもきれいにならないことがあります。数枚使用してやさしく拭いて下さい。

乾かす: よく乾かして下さい。おむつのむれ, 細菌やカビなどが繁殖しにくくなります。

塗る: 処方された軟膏を塗って下さい。赤くなっているだけの場合, ただれている場合, 血がにじみ出ている場合で, 軟膏の種類が違ってきます。パウダーを使用するとかえって悪化することがあるので, 使用しないで下さい。



<注意 1: 肛門周囲びらん!!>

お尻をきれいにしようと思って, ウェットティッシュでゴシゴシ拭くあまりに, 肛門周囲の皮膚を痛めてしまい, 「肛門周囲びらん」になる場合があります。ウェットティッシュは一見柔らかそうですが, 実は結構硬いのです。たっぷりのお湯, 石鹼, 柔らかいガーゼできれいにしてあげるのが一番です。「肛門周囲びらん」になった場合には専用の軟膏を処方します。



<注意 2: カンジダ皮膚炎!!>

カンジダというカビでおこる皮膚炎で, おむつかぶれに似ています。カンジダ皮膚炎の治療には専用の軟膏が必要です。おむつかぶれの塗り薬では, カンジダ皮膚炎がかえって悪化する場合があります。また, 漫然とおむつかぶれの薬を塗っていると, カビが生える場合があります。おむつかぶれの治療を始めたのに治らない時には, 早目に御相談下さい。